

2011年3月20日
本部二期生 Silver

東北・関東大震災 お見舞いの言葉

— 被災されたあなたへ —

地震・津波に襲われて10日目です。この度の事、謹んで、お見舞い申し上げます。

地球が変わりつつあると日頃うっすらと感じておられたと思いますが、惨事として現実となっています。阪神・淡路大震災、スマトラ島沖大津波等近年ありましたが……。防潮堤作業を優先させている間に家族全員死亡の人、ケガを負ってしまった人、……。死を伴う災害は火事や交通事故という形で経験する場合もありますね。

自分の人生の予定が、夢が違ってしまったとの思い……。経験しない人には、このつらさはわからない！と言われるかも知れませんね。思いきり泣いて、叫んで気持ちを軽くしましょう。周りの人は動き出しているし、応援も駆けつけてくれています。日頃思いもしないペルーの人達が祈ってくれている写真も報道されました。世界が見守ってくれています。

ガンバロー！と立ち上がっても又泣きたくなるかも知れません。そうやって少しずつ悲しみを無くして行きましょう。家族との別離に際して「きけ わだつみの声」という太平洋戦争時の手記もあります。

今回は津波、原発での冷却水対応と水に悩まされました。目の前の現実を受け入れて出発しましょう。復元だけでは無く、この機会に新しく創っていく、というのはどうでしょうか。

雨のち晴！太陽のめぐみを受けましょう！

太陽のめぐみとは、いつも、どこにでも、もたらされる温かさと明るさ、
言葉を変えると愛と光ですね！

でも、空に輝く太陽に感謝するだけでなく、自分の内にある太陽（魂でもあります）を私もあなたも輝かせ、

自分達も周りも元気になりましょう！ 粘り強く！！